

水先制度を取り巻く諸課題

水先人の確保・養成のあり方

○ 日本人船長の減少に伴い、水先人不足が近々到来

- 外航船長3年経験を求める水先人資格要件のあり方
- 若年者が水先人になることができるための方策
- 要件緩和の中で、安全レベルの維持を図るための試験・養成のあり方 等

業務運営のあり方

○ 水先業務効率化への要請の強まり

- 業務の効率化が働くようにするための方策
- 業務内容・経理内容の透明化のための方策
- ベイ水先区とハーバー水先区の乗り継ぎに伴う課題
- 水先料金を国が一律に定める方式のあり方 等

○ 水先業務品質向上への取り組みの必要性

- ユーザーに対して責務を持って遂行する体制のあり方
- 事故を起こした場合の処分・再教育のあり方 等

船舶交通の安全等の確保のあり方

○ 船舶交通の安全等の確保への要請の高まり

- 実態を踏まえた合理的な規制のあり方
- 機動的な規制の見直しに向けた課題 等

**水先制度の
抜本改革が必要**